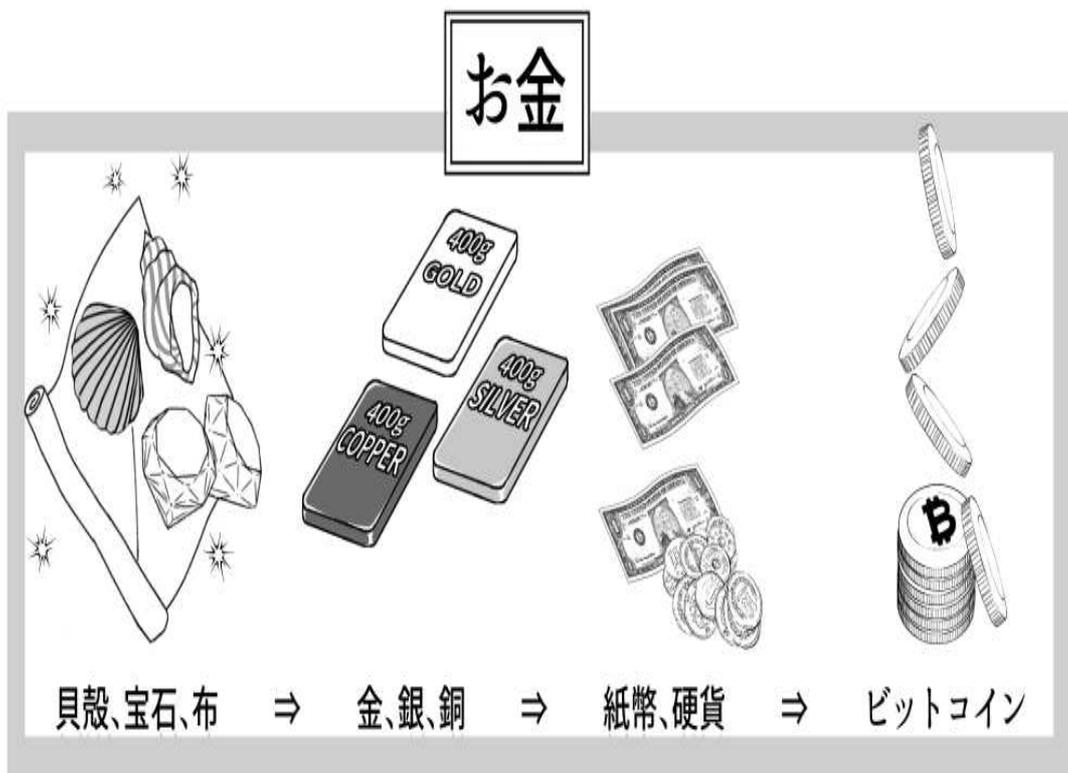


第14課 お金が一番大事か

世の中、お金がないと生きていけないのは事実だ。衣食住は言うに及ばず、趣味、交際にもお金が必要だ。もし家を買う場合は、とても大きなお金が必要となる。「金がもの言う」という諺もある通り、お金持ちだといろいろなことが可能になる。だから、「お金が一番大事」だと多くの人が思っている。

介護の世界も例外ではない。ボランティアだけで介護を行うのは全く不可能である。日本では政府が介護保険制度を2000年に導入したが、この制度の根本は、介護に必要なお金をどうするかということなのだ。また、日本では、給料が安いからという理由で、離職する介護士も多いと言われている。

だから、これから介護士を目指す諸君も、お金に関して真剣に考えておいた方が賢明だろう。はたして自分は、「お金が一番大事」だから介護を目指すのかどうかという問いである。



第1セクション お金の歴史

お金と言っても、世界中にはいろいろなお金があります。日本円、アメリカドル、ベトナムドン、ネパールルピー、ユーロ、タイバーツなどなど。これらのお金は「通貨」と呼ばれます。その国で流通しているお金（貨幣）という意味です。それでは、お金の歴史をひもといてみましょう。

- ① 自給自足：大昔、人は自分たちが必要なものをすべて自分たちで調達していました。食べる物、着る物、狩りをするための道具などです。
- ② 物々交換：その後、近くに住んでいる人々と交わる中で、自分たちが持っていないものがあることを知り、それと自分たちが持っているものとを交換するようになりました。
- ③ 貨幣の登場：その後、交換する物や相手が増えたので、物々交換では不便なことが分かってきました。そこで、ある特定の物、例えば、貝殻、宝石、布などを共通の交換尺度として使用することになりました。これが貨幣の始まりです。
- ④ 市場の誕生：貨幣を使用して物の売買をするには、どこか特定の場所を決めて、そこにみんなが集まるのが便利だということになり、市場が誕生しました。
- ⑤ 貴金属が貨幣となる：いろいろな貨幣の中で、価値が高くて、持ち運びが便利な貴金属（金や銀や銅）が貨幣として流通するようになりました。だから、貨幣のことを「金」と通称するようになりました。
- ⑥ 紙幣と硬貨の使用：しかし、貴金属の存在には限りがあるので、その代わりとして、紙幣や硬貨が使われるようになりました。
- ⑦ 仮想通貨：コンピュータが発展し、最近では、実物の紙幣や硬貨ではなく、ビットコインなどの仮想通貨が登場しています。

紙幣や硬貨そのものには、ほとんど物として価値がありませんし、仮想通貨ではそもそも物を使用しません。それでも、それらを価値あるものとして使用しているのは、人々がそれらを「貨幣」として「信用」しているからです。この「信用」のおかげで、貨幣経済はどんどん拡張して、社会の発展をもたらしたのです。でも、ある学者は、貨幣制度は虚構（フィクション）だと考えています。

このようなお金の話は介護とは直接関係がないと思うかもしれませんが、実は深い関係があることが、以下のセクションで明らかとなります。

考えよう

1) 主題文に「金がものを言う」という諺が出ています。実際「金」は「言う」ことはできないのに、どうしてこのような言い方をするのでしょうか。

2) 「金がものを言う」以外の、お金にまつわる諺を調べてみましょう。

まつわる

3) 本文に、「ボランティアだけで介護を行うのは全く不可能である」と書いてありますが、それはどうしてだと思いますか。

4) 本文に、「物々交換では不便なことが分かってきました」と書いてありますが、どのような不便があったのか想像してください。

5) 本文に「交換尺度」が出ていますが、「尺度」の元々の意味を調べましょう。
また、長さを測る尺度をいろいろ比較してみましょう。

6) 本文に出ている「市場」には「いちば」と「しじょう」の二通りの読み方があります。それぞれの意味を説明してください。

7) 本文に出ている「仮想通貨」をネットで調べてみましょう。

8) 「商品券」「回数券」「キャッシュカード」「クレジットカード」「プリペイドカード」は貨幣なのでしょうか。

商品券 (しょうひんけん)
回数券 (かいすうけん)
クレジットカード

9) 本文に出ている「信用」を使う日本語を調べてみましょう。

10) 本文に、「ある学者は、貨幣制度は虚構 (フィクション) だと考えています」と書いてありますが、あなたはその考えに賛成しますか。

第2セクション 幸せはお金では買えない

ネパールの東^{ひがし}にブータンという、とても小さな国があります。面積は九州^{めんせき きゅうしゅう}くらいで、人口はたったの70万人くらいです。この国の前の王^{おう}が GNP(=Gross National Product^{こくみんそうせいさん}国民総生産)ならぬ GNH(=Gross National Happiness^{こくみん}国民総幸福)という考えを提唱^{ていしょう}したことで有名です。国の経済力^{けいざいりよく}を計るためには通常 GNP (または GDP) が使用^{はか}されますが、これらは経済指標^{けいざいしひょう}だけの計算なので、国民^{こくみん}が本当に幸福を感じているかどうかはわからないという考えに基づいています。具体的には、以下9つの指標^{しひょう}があります。

- ① 心理的な幸福
- ② 国民^{こくみん}の健康 (病院までの距離^{きょり}など)
- ③ 教育^{きょういく}
- ④ 文化^{たうせい}の多様性
- ⑤ 地域^{ちいき}の活力 (家族は助け合っているかどうかなど)
- ⑥ 環境^{かんきょう}の多様性と活力 (植林^{しょくりん}したかどうかなど)
- ⑦ 時間の使い方とバランス (睡眠時間を取っているかどうかなど)
- ⑧ 生活水準^{すいじゆん}・所得^{しよとく}
- ⑨ 良き統治^{とうち}

ブータンの一人当たり GDP は2016年で2,674ドルと、非常に低いにもかかわらず、国民^{こくみん}の97%が「幸せ」だと感じているそうです。それに比べ、日本の一人当たり GDP は2016年で38,917ドルと、非常に高いにもかかわらず、国民の43%しか「幸せ」だと感じていないそうです。ただ、ブータンと日本^{たんにほん}を単純^{ひかく}に比較することはできませんし、最新の国連^{こくれん}の調査によると、日本人の幸福度は世界第51位で、ブータン人は第97位だそうです。でも、日本の一人当たり GDP が世界第22位、ブータンが第129位であることを考え

ると、幸福とお金は直結ちよっけつしていないことは確たしかなようです。ですから、日本は小国しょうこくのブータンから学ぶ点がたくさんありそうですね。

以上の話から、人の幸せとお金は直結していないということ、すなわち、「幸せはお金では買えない」ということが分わかります。以前学んだ通り、「福祉ふくし=幸せ」ですから、「福祉はお金では買えない」ということになります。介護も福祉ふくに含まれますから、結局けっきょく、「介護はお金では買えない」ということになるのです。でも、私は本課ほんかの主題文の中で、介護保険ほけん こんぽんの根本はお金だと書きましたから、どこか矛盾むじゆんしていそうですね。このことは次のセクションで考えてみましょう。



考えよう

1) ネットでブータンを調べ、あなたの母国ぼこくと比較ひかくしてみましょう。

母国
(ぼこ)

2) 本文に出ている GNP、GDP の計算方法を調べてみましょう。また、あなた

の^{ほこく}母国の数字および世界でのランキングを調べましょう。

および
ランキング

3) あなたは「心理的な幸福」を^{すうちか}数値化することは可能だと考えますか。

数値化
(すうち)

4) あなたの^{ほこく}母国では何%の人が幸せだと感じているか調べましょう。また、日本の幸福度があまり高くない理由を、あなたの母国と^{ひかく}比較して考えてみましょう。

5) 本文に、「ブータンと日本を^{たんじゆん ひかく}単純に比較することはできません」と書いてありますが、どれはどうしてだと思えますか。

6) 本文に、「幸福とお金は^{ちよっけつ}直結していないことは確かなようです」と書いてありますが、どうしてブータンと日本を^{ひかく}比較するとそう言えるのでしょうか。

7) 本文に、「日本は^{しょうこく}小国のブータンから学ぶ点がたくさんありそうですね」と書いてありますが、どのような点があると思えますか。

8) 本文に、「幸せはお金では買えない」と書いてありますが、あなたはどのように思いますか。

9) 本文に、「介護も福祉ふくしに含まれます」と書いてありますが、それはどうしてでしょうか。

10) 本文に、「介護はお金では買えない」と書いてありますが、あなたはどのように考えますか。

第3セクション 介護保険

日本では2000年4月から介護保険制度が始まった。理由は、^{しょうじ}少子高齢化社会に伴い、^{ともな}家族だけで高齢者を介護していくことが困難になったからである。介護保険の主な目的は以下の通り。

- ① 介護の社会化：家族に^{いそん}依存していた介護を、^{れんたい}社会連帯の精神によって、社会全体で支えていこうとすること。
- ② ^{そち}措置制度から^{けいやく}利用契約制度への^{てんかん}転換：以前はすべて^{ぎょうせい}行政が決定していたのを、サービス利用者が決定できるようにすること。
- ③ サービスの質の向上：^{みんかんきぎょう}介護が民間企業に^{かいほう}開放され、^{きょうそう}競争が生まれることで、サービスの質の向上が期待できること。
- ④ ^{かがく}介護の科学化：^{かかく}ケアマネジメントの考えを^{どうにゆう}導入して、介護サービスの^{ひょうじゆんか}標準化、科学化を実現しようとする事。

それでは、^{しく}介護保険制度の仕組みを以下簡単に説明しよう。

法律：^{ほうりつ}介護保険法

保険者：^{くしちようそん}区市町村

被保険者：^ひ第1号 ^{ごう}65歳以上 第2号 40歳以上～^{みまん}65歳未満

財源：^{ざいげん}利用者10%、^{ぜいきん}税金45%、^{しゆく}介護保険料45%

介護サービス利用者：第1号被保険者は、^{ふもん}介護認定を受けた方（原因は不問）。

第2号被保険者は、^{がいこくせき}特定疾病による介護認定を受けた方。なお、^{がいこくせき}外国籍の方も保険へ^{かにゆう}加入する。

要介護認定：^{はんてい}コンピュータによる一次判定→^{しんさかい}介護認定審査会による二次判定。認定結果は、^{がいどう}非該当、要支援1～2、要介護1～5。

ケアプランの作成：要支援の方は、^{ほうかつ}地域包括支援センター、要介護の方は、在宅

であれば居宅介護支援事業所、施設入所であれば施設が作成する。主に、ケアマネージャーが担当する。

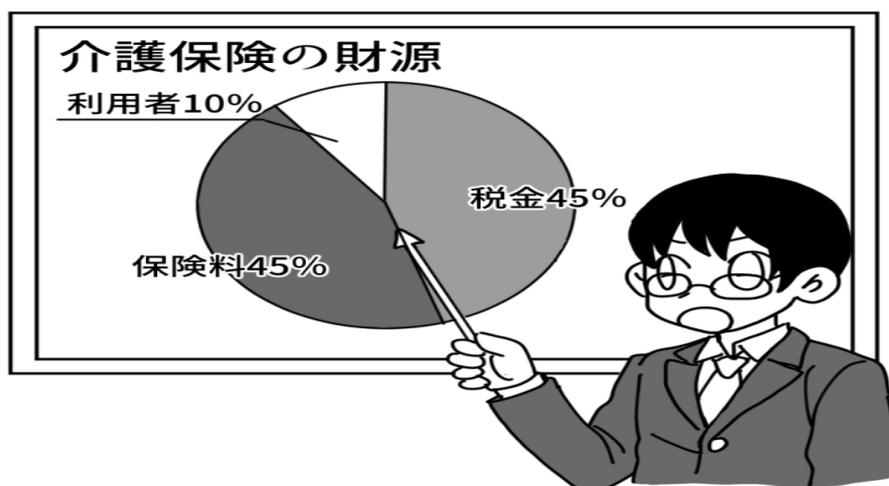
介護サービスの種類：居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス、住宅改修費の支給、福祉用具購入費の支給

月額支給限度額：要支援1 約5万円、要支援2 約10万円、要介護1 約17万円、要介護2 約20万円、要介護3 約27万円、要介護4 約31万円、要介護5 約36万円。この内の9割が支給され、1割が自己負担。ただし、支給されるのは現金ではなく、サービスが提供される。

制度の見直し：3年毎に介護報酬や保険料が見直される。

介護保険サービスの利用者は増加の一方で、2016年は約500万人に達している。そのため、保険金の支給総額も増加の一方で、2016年度はとうとう10兆円を超えてしまった。「2025年問題」もあり、この勢いで費用が増加すると、介護保険制度を維持するのが困難になってくるのは明らかだ。そのため、政府はいろいろな対策を取り始めているが、根本的な解決策とは言えない。

これらのことは、現場で働いているだけではピンとこないかもしれないが、介護士も、介護保険制度をよく理解する必要があるのは当然だ。



 **考えよう**

1) 介護保険が始まった経緯^{けいゐ}について、「少子高齢化社会」をキーワードに調べてみましょう。

経緯 (けい
い)

2) 「介護の社会化」をどう考えますか。

3) 「措置^{そち}制度から利用^{けいやく}契約制度への転換」について調べてみましょう。

4) 「民間企業^{みんかんきぎょう}に開放^{かいほう}され、競争が生まれる」のはどうしてだと思いますか。

5) 「ケアマネジメント」を調べてみましょう。また、それがどうして介護^{ひようじゆんか}の標準化や科学化につながるのか、考えましょう。特に、介護と科学との関係について考えましょう。

6) そもそも「保険」とは何かを説明してください。

7) 介護保険法は国が定めたのに、保険者が区市町村であるのはなぜでしょうか。

定める
(さだめ)

8) 被保険者の第1号と第2号とがなぜ65歳で分かれているのでしょうか。

9) 介護保険の財源である税金の内訳を調べましょう。

内訳
(うちわ)

10) 介護保険の財源である保険料の内訳を調べましょう。

11) 第2号保険者の認定条件^{じょうけん}である「特定疾病」を調べましょう。

12) 「要介護認定」の内容を詳しく^{くわ}調べましょう。

13) 「ケアプラン」について詳しく調べましょう。

14) 介護保険の「介護サービス」を詳しく調べましょう。

15) 本文に、「支給されるのは現金ではなく、サービスが提供される」と書いてありますが、その理由を考えましょう。また、あなたなら現金とサービスのどちらを^{えら}選びますか。

16) 本文の「2025年問題」とは何か、調べましょう。

17) 本文に、「介護保険制度を維持するのが困難」と書いてありますが、それはなぜなのでしょう。

18) 本文に、「政府はいろいろな対策を取り始めているが、根本的な解決策とは言えない」と書いてありますが、その事情を詳しく調べましょう。

事情
(じじょ)

19) 本文に、「介護士も、介護保険制度をよく理解する必要があるのは当然だ」と書いてありますが、それはなぜなのでしょう。

20) 結局、「介護は金では買えない」と「介護保険の根本はお金」とは矛盾するのでしょうか。あなたの考えを述べてください。

第4セクション 介護士の給料

ある社会福祉法人の求人票の一部を見てみましょう。

法人名 社会福祉法人〇〇会 代表者 理事長 〇〇 〇夫

設立 平成〇年〇月〇日

所在地 東京都〇〇区〇〇2-5-8 電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

事業内容 特別養護老人ホーム、デイサービス、介護支援センター等

募集職種 介護職員 7名

給与 初任給 短大・専門卒 基本給 160,600円

資格手当 10,000円

住宅手当 10,000円

夜勤手当 月4回 28,000円

合計 208,600円

通勤手当 限度額 30,000円

賞与 4.2ヶ月 (前年実績)

昇給 年1回 6,000円~10,000円

勤務 勤務区分 早番 7:00~16:00

日勤 8:30~17:30

遅番 13:00~22:00

夜勤 21:30~ 7:30

休日 4週8休 (シフト制) 年次有給休暇 初年度 10日

福利厚生 各種社会保険完備 (健保、厚生、雇用、労災)

その他 退職金共済制度

これはほんの一例です。それでは介護士の平均給料はいくらで、他の仕事とはどれくらい違うのでしょうか。厚労省の統計によれば、2016年の福祉

施設の介護士は215,200円で、全産業平均月給は304,000円です。ということは、介護士の月給は全産業平均より88,800円低いということになります。年間で計算すれば、1,065,600円低いということですね。でも、年収にはボーナス（賞与）も含まれますから、月給の単純計算では正確ではありません。ある統計によれば、2016年介護士の平均年収は316万円、全産業は420万円です。すなわち、その差は104万円となり、先ほどの月給計算の差とほぼ同じとなりました。でも、他の統計では年収差が200万円というのもあります。

このように介護士の収入が低いことは明らかなので、政府も介護職員処遇改善加算という対策を取って、少しずつ介護士の収入を増やそうと努力をしていますが、焼け石に水という状況です。

それでは、なぜ介護士の給料が他の仕事に比べて低いままなのでしょう。また、本当に、低い給料だけの理由で、介護士になる人が少なかったり、離職者が多くなったりしているのでしょうか。これらの問題は複雑で、そう簡単には説明できません。でも、これから介護を目指す諸君にとってはとても大切な問題です。是非、情報を集めるとともに、自分の頭でよく考えてください。介護士にとっても、「お金が一番大事か」という問題を。



 **考えよう**

1) 本文に出ている「社会福祉^{ふくし}法人」について調べましょう。

2) 自分でいろいろな求人票^{きゅうじんひょう}を入手^{にゆうしゅ}して比較^{ひかく}してみましょう。

3) 本文の求人票^{きゅうじんひょう}に出ている労働条件^{ろうどうじょうけん}の意味を調べましょう。

労働条件
(ろうどうじょうけん)

4) 介護士^{しゅうにゆう}の収入^{しゅうにゆう}は、職種^{しせつ}、年齢^{きぼ}、施設^{ちいき}の規模^{きぼ}、地域^{ちいき}によって違うことをネット^{ネット}で調べましょう。

規模
(きぼ)

5) 本文には収入^{しゅうにゆう}のことしか書いてありませんが、実際^{てじつ}の手取り金額^{てど きんがく}や貯金^{ちよきん}できる金額^{てど きんがく}を計算^{けいさん}してみましょう。

手取り (てど
り)

6) 「給料が低い」と「給料が安い」とは同じ意味でしょうか。

7) 本文に出ている「介護職員^{しょうかいぜんかさん}処遇改善加算」について調べましょう。

8) 本文に「介護士の給料が他の仕事に比べて低いまま」と書いてありますが、その理由を考えてみましょう。

9) 本文に、「低い給料だけの理由で、介護士になる人が少なかったり、離職者が多くなったりしている」と書いてありますが、あなたはどのように思いますか。